

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成27年度技術情報第17号(施設野菜の病害) について (送付)

施設野菜の病害対策について情報を取りまとめましたので送付します。11月中旬の調査での主要な病害はほぼ平年並みの発生となっていますが、今後の発生に注意してください。

1 農作物名 施設野菜

2 病害虫名 病害全般

3 発生状況

(1) 発生地域 県本土

(2) 発生量 並～やや多

4 情報の根拠

(1) むこう1カ月の気象予報では平年より気温が高く、降水量が多いと予想されている。このため、施設内が多湿になりやすく、また、作物も軟弱徒長しやすいため、病害の発生が多くなるのが危惧される。

(2) 本年は10月下旬以降、平年より気温が高く推移しており(図1)、ピーマン等では着果負担が大きく、着花数が減少するなど樹勢低下の症状が認められる。

(3) 12月も気温が高く推移した場合、暖房機が稼働せず、施設内が多湿状態となる場合が想定される。

(4) 近年で12月の気温が高く、降雨が多い年は平成16年があげられる(図1、ただし、平成16年の夏期は気温が高かった)。この年の12月の巡回調査では平年より発生が多かった病害が多く認められる(表1)。

5 防除上注意すべき事項

(1) 多発してからでは防除が困難となるので、予防散布に重点を置く。

(2) 肥料切れや成り疲れによる草勢の衰えは発生を助長するので、適正な肥培管理に努める。

(3) ハウスでは換気や通風を良好にして多湿を防ぐ。

(4) 罹病した茎葉、果実は伝染源となるのでほ場外に持ち出し処分する。

6 参考データ

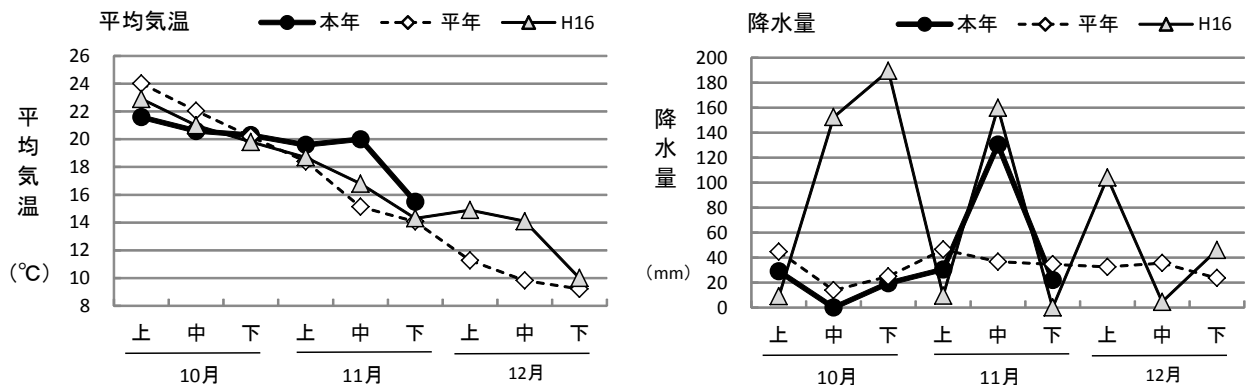


図1 平均気温、降水量の推移(鹿児島市気象データ)

表1 施設野菜の主要病害の発生状況

作物名	病害名	本年		平成16年			
		11月	概評 ^{a)}	11月	概評	12月	概評 ^{b)}
トマト	うどんこ病	33	多	0	やや少 →	0	少
	疫病	7	並	0	やや少 →	20	やや多
	灰色かび病	0	並	0	並 →	0	やや少
	菌核病	0	並	0	やや少 →	33	多
ピーマン	斑点細菌病	0	並	25	多 →	33	多
	斑点病	11	少	33	多 →	60	やや多
	うどんこ病	37	並	17	やや少 →	53	やや多
	菌核病	11	並	25	多 →	7	並
	軟腐病	0	やや少	8	やや多 →	13	やや多
キュウリ	べと病	36	並	75	多 →	100	多
	うどんこ病	50	並	38	やや少 →	55	やや多
	菌核病	0	並	0	少 →	9	並
イチゴ	灰色かび病	0	やや少	6	やや多 →	24	やや多
	うどんこ病	33	並	0	並 →	6	やや少

a) 本年概評：平年値（平成26～17年）に対する比較

b) 平成16年概評：平年値（平成15～6年）に対する比較